

提言施策名	「女性仕事講座とワークショップの開催」及びその後の展望 提言研究員 中島 眞由美
-------	---

### 上記提言の要旨

私が代表を務めるNPO法人よしかわ子育てネットワークは、子育て中の保護者への支援を通じて、吉川市を「子育てしやすいまち、子が育ちやすいまち」であるよう活動しております。支援者として現場にいる中、育児中の保護者のつまづきの理由として、初めての子育てという不安感はもちろんのこと、育児によるキャリアの分断や焦燥感、孤育てからくる「自己肯定感の低下」「自ら選択するという意思の低下」が見られることが少なくなき、これらについて大きな課題意識を持っていました。

そんな折、今のライフステージに合った働き方を見つめ、選択することが子育て支援の一環になるとして、平成26年度、吉川市商工課の協力も得ながら「市地域創業スクール(iSB 公共未来塾)」を実施(受講対象者は子育て中の保護者に限らず)し、受講生23名のうち22名が同コース課程を修了しました。修了生はそれぞれに、創業につながり事業所を構えて経営をする者、勤務しながらも個人の活動の幅を広げた者、ビジョンに基づいたサークル活動を興した者、目に見えた経済活動には至らずも継続して市民活動に参画する者と、受講で得た学びをそれぞれのステージで活かすべく奮闘しております。また、不定期ではありますが、受講生のゆるやかなつながりの場を持ち続けることで、受講生がそれぞれにお互いの事業やビジョンを応援しながら、今の自分の在り方を肯定的に受け止められるよう努めています。

これらの過程を経て実感したことが二点あります。

一点目は「創業に限らず、保護者へのキャリア教育の必要性」、二点目は「継続して学べる・つながれる場づくりの必要性」です。

以上を踏まえ、多様な働き方を知り、自己肯定感を高め、育児を通じた支えあう地域コミュニティの拡大にも寄与することを目的として、「女性仕事講座とワークショップの開催」を提案いたします。

